

令和2年度第3回シンポジウム

地域循環共生圏形成における廃棄物エネルギー利用施設の果たす役割と可能性

2021年2月4日

環境省

廃棄物資源循環学会

[趣旨] 気候変動の緩和が喫緊の課題となっており、我が国では、第四次循環型社会形成推進基本計画において「地域循環共生圏」の形成を目指すこととされた。地域循環共生圏には、廃棄物の持つエネルギーや回収資源を地域産業との連携のもとで、地域内で有効に利用していくことにより経済的にも持続可能な地域社会を醸成していく戦略の導入も含意される。

以上を踏まえ、環境省と廃棄物資源循環学会は、「地域循環共生圏形成における廃棄物エネルギー利用施設の果たす役割と可能性」と題するシンポジウムを開催し、ごみ処理事業等におけるエネルギー、有機資源及び工業資源の回収とそれらの利活用を通じた地域循環共生圏形成へ道筋について討論を行うこととした。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2021年3月3日(水) 14:00~18:00

[会場] WEB開催

[定員] 200名(事前申込み制)、自治体関係者を優先。

[参加費] 無料

[参加申込み] 学会ホームページ (https://jsmcwm.or.jp/?page_id=20776) から申込みください

[プログラム]

14:00~14:05	開会の挨拶	学会会長 吉岡敏明(東北大学)
14:05~14:30	地域循環共生圏形成について(25分)	環境省廃棄物適正処理推進課
14:30~15:00	地域循環共生圏モデルの提案(30分)	井伊亮太(パシフィックコンサルタンツ株)
15:00~15:20	京都地区の地域循環共生圏(仮)(20分)	浅利美鈴(京都大学)
15:20~15:40	WG調査報告(20分)	友田啓二郎(学会事務局)
15:40~16:40	先導的な廃棄物処理に係る技術事例報告(各社10分 全6社で60分) タクマ、大原鉄工所、クボタ、川崎重工業、神鋼環境ソリューション、日立造船	
16:40~17:50	パネルディスカッション(60分+会場整備10分)	コーディネーター 酒井伸一(京都大学)
17:50~17:55	閉会の挨拶	学会副会長 長田守弘(日鉄エンジニアリング株)

以上